

<p>6月12日 水</p>	<p>13:30 ～ 14:30</p>	<p><b>薬剤師会出前講座</b>  <b>テーマ「お薬の正しい使い方」</b>  <b>コジマ薬局 児嶋 慶和薬剤師</b>  <b>上古沢サロンえびす 参加者 16名</b></p> <p>まず、会場に行くまでの坂道に悲鳴をあげてしまいました。着いたところは、まるでトトロの森。外気温28度でも、窓から入る風は心地よく、思わず抜け出して外で “ パチリ ” ……。</p> <p>薬剤師になるには…から始まり、薬の効き方、薬の主作用と副作用、医療用医薬品と一般用医薬品のここが違う…等、日頃病院や受診先では教えてもらえないことを盛りだくさんに知ることができました。また、カプセルを使って「ベタベタ試験」真剣に取り組み、「…なるほど、ちゃんと適量で薬を飲まないといけないのね。」と納得いただきました。</p> <p>また、薬を飲み忘れたら、朝服用する薬を忘れてお昼に思い出したらどうしよう、本人が薬を飲まない時の工夫など多くの質問もありました。これからは、気軽に薬剤師にお問い合わせください。</p> 
<p>6月14日 金</p>	<p>14:00 ～ 15:00</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 横田整形外科 12名参加</b>  <b>5症例のカンファレンスを実施</b>  <b>横手整形外科初参加の土生川所長よりあいさつ</b>  <b>横田医師より</b></p> <p>脳卒中の患者は整形外科に来ることはないと思うが、それでも診察に来ることがある。</p> <p>例えば、ドクターショッピングをしている人など課題の多い人がここにたどり着いているように思う。</p> <p>「よくなる」という障害告知をここで言う役目にもなっている。</p> <p>主治医が告知しないとケアマネなど他のスタッフは言えないと思う。</p> <p>告知した後、次のステップを目指すための支援は必要と思っている。</p> <p>…やはり、患者様にとって「リハビリ終了」等の宣告は、まだまだ医師の役割であることが多いようですね。</p> <p>…しかし、それに至るまでにしっかり多職種で情報交換・共有ができれば、          医師も正しい判断と宣告ができるのではないのでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">文責 橋本市包括支援センター 岸部保健師</p>
<p>6月18日 火</p>	<p>14:00 ～ 15:00</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 梅本診療所 13名参加</b>  <b>9症例のカンファレンスを実施</b></p> <p>9症例全ての患者さんが認知症に関する問題を抱えていました。認知症の周辺症状のために代金を払わず商品を持ち帰りそうになったり、引きこもりになったり、薬の管理ができなかったり。しかし、原疾患の進行状況と認知症周辺症状との見極めは難しいところがあります。また、認知症を認知症や性格と決めつけず、正しく診断することで「治る症状」かもわかりません。カンファレンスの機会にしっかりと情報提供し、医師の意見を聞き一緒に治療・ケアを提供していけることを実感しました。</p> <p>梅本診療所は有床診療所です。施設では受入れのできない医療ニーズのある患者さんでも、空床があれば受け入れをしていただけるようです。お困りの方は一度相談してみるのもいいですよ。</p> 
<p>6月18日 火</p>	<p>16:00 ～ 17:00</p>	<p><b>診療所内カンファレンス 前田医院 18名参加</b>  <b>7症例のカンファレンスを実施</b></p> <p>包括の方からもコメントがありましたが、今回の症例は認知症利用者のケースが目立ちました。デイサービスには行きたがらない、グランドゴルフに行くのも嫌！あちこちのクリニックや病院に受診し薬が重複したりと健康上の問題を引き起こしそうな状況になったり。CMさんたちは根気よく訪問し説得して何とかしようとしてくれているようです。特にデイに行って転倒して痛い思いをしたり、同じ活動をしている人に辛いことを言われたりしたら、きっと自分も「行きたくない」ということになると思います。そんな時は短期間でも訪問リハビリで自信をつけ、また仲間のところに行けるように連携をとっていけるといいなあ～と感じました。</p>
<p>6月22日 土</p>	<p>15:30 ～ 16:30</p>	<p><b>第6回医療と介護の連携勉強会 参加者104名</b>  <b>会場：紀和病院ウエルビーホール</b>  <b>テーマ：医療と介護の連携支援</b>  <b>訪問時のチェックポイント</b>  <b>～リハビリテーションの視点から～</b>  <b>講師：訪問看護ステーション ウェルビー 作業療法士 富名腰 幸子</b>  <b>みどりクリニック デイリハビリ 理学療法士 竹田 順子</b></p> 

<p>6月22日 土</p>	<p>17:00 ～ 20:00</p>	<p><b>医療と介護の連携懇親会 於：ゆの里 参加者63名</b></p> 
<p>6月29日 土</p>	<p>13:30 ～ 15:30</p>	<p><b>緩和ケア多職種症例検討会「大和街道」 参加者40名</b>          医療法人南労会紀和病院 ウェルビーホール          『失われていく運動機能、明日への不安』～ALSの緩和ケア～          演者：医療法人 仁清会 岡本クリニック 岡本一仁医師          医療法人 南労会 みどりクリニック 額田敏秀医師          世話人代表：紀和病院緩和ケア科 廣岡慎治医師          ALSについての臨床的定義や経過、治療等について額田先生にご説明いただき、多職種でグループディスカッションを行いました。          「なぜ私がこんな目にあうのでしょうか？」と言われたとき、どう答えますか？          「自宅に帰りたい。」と言われたときどんな支援をしますか？          できないことの苦しみを理解する・・・普段着参加の場でしたが、胸が詰まる思いでした。</p>